



# 越中福岡 の 菅笠製作技術 保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2018年1月 No.25

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12  
高岡市福岡総合行政センター 地域振興課内  
TEL.0766-64-5333 FAX.0766-64-5344

北陸新幹線に乗って

きときとスゲガールズ、東京で実演！

## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は越中福岡の菅笠振興会の御努力のもと、国の伝統的工芸品に指定され、新しい一步を踏み出すことになりました。菅笠製作技術保存会と致しましても、従来以上に笠骨職人、笠縫い職人の育成に努力してまいりたいと思いますので、皆様方の積極的な参画と御努力を御願い致します。

菅笠職人の多くが当会の会員であり、会員の中から伝統工芸士として活動されることも期待する次第であります。

保存会を含め皆様には、新しい年が幸多い年になりますことを御祈願申し上げます、挨拶と致します。



会長宅笠骨づくり工房



## あらかわの伝統技術展

“職人のお仕事に触れて楽しむ三日間”と題して、「第38回 あらかわの伝統技術展」が、7月7日（金）～9日（日）荒川総合スポーツセンターで行われ、菅笠展示販売・笠縫い実演・菅のコースターづくり体験を行いました。今回で四回目の出展となり、橋本レイ子さんと



山本百合子さんは二度目の荒川での笠縫い実演です。校外学習に訪れた小学生などに、笠縫い職人の技をPRしました。

毎回子供たちに大人気の「菅のコースターづくり」は、菅っこメイトの大道悦子さんと村岡節子さんが指導しました。

## かがやき TOYAMA 逸品フェスタ 2017

「かがやき TOYAMA 逸品フェスタ 2017」が開催され、12月11日（月）～17日（日）東京日本橋の富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」で、特産品の展示販売が行われ、菅笠の販売とPRを行いました。

12月16日（土）には、橋本レイ子さんが笠縫い実演を行い、職人の技を披露しました。



かがやき TOYAMA 逸品フェスタは、11月26日（木）～28日（土）の期間中、「in 富山県ものづくり総合見本市 2017」として、富山県産業展示館（テクノホール新館・本館）でも行われました。



## 平成 29 年度 菅笠展覧会・コンテスト

11月18日(土)・19日(日)、Uホールで「平成29年度 菅笠展覧会・コンテスト(国際北陸工芸サミット関連事業)」(主催:菅笠展覧会・コンテスト実行委員会)が開かれ、展覧会には技術保持者の菅笠69点、コンテスト作品には、伝統笠部門10点・創作笠部門4点・研修生菅笠部門23点・アイデア作品部門23点・小学生デザイン画部門164点・中学生デザイン画部門145点と、笠骨づくり講座研修生作品7点の、計445点が展示・販売されました。

デザイン画部門では、福岡小学校・中学校の児童と生徒によるユニークな菅笠とスゲ細工のデザイン画を募集し、全応募作品を展示しました。

18日には、コンテスト作品表彰式と、富山大学生企画「スゲクラフトコンペ」が行われました。「菅笠」「スゲ」「笠骨」を再構築し、市内外の方々へ「菅笠・スゲ」の理解を深めてもらう、スゲクラフトコンペティション! 富山大学芸術文化学部の学生4名が、新たな視点で「菅笠・スゲ」の可能性を発表しました。発表後には来場者全員で投票を行い、優秀作品を表彰しました。



デザイン画部門…沢山のご応募ありがとうございました。



菅のコースターづくり体験(菅っこメイト指導)



全国の菅笠を使用したイベントポスター展示

「笠骨づくり」「笠縫い」の実演、菅のコースターづくり体験、巨大大野笠(尺4寸)、全国の菅笠を使用したイベントポスター展示も行われ、会場は大勢のお客様で賑わっていました。

### ◆平成 29 年度 菅笠コンテスト受賞作品



伝統笠部門 最優秀賞  
「尺7寸胴深笠」  
笹島かずさん



創作笠部門 最優秀賞  
「鶴目笠帽子(クエティンク飾り)」  
向井園子さん



アイデア作品部門 最優秀賞  
「スマホカバー3点」  
永田厚子さん



・伝統笠部門 優秀賞  
・創作笠部門 優秀賞  
・研修生笠部門 優秀賞  
・アイデア作品部門 優秀賞



「尺5寸妻折」林すず子さん(A)、「尺7寸胴深」越後喜代さん(B)



「花いっぱい」佐野智賀子さん(C)



「角笠」竹田志信さん(D)、「富士笠」向井園子さん(E)



「鶴と亀」向井園子さん(F)、「染菅・髪止め」菅っこメイトさん(G)



—富山大学生企画—  
スゲクラフトコンペ



小学生デザイン画部門 金賞「菅の一輪挿し」  
細田大輝さん



中学生デザイン画部門 金賞「スゲのフロアライト」  
森本仁さん

・小学生デザイン画部門 銀賞  
「オシャレな菅小物入れ」三可涼未さん①、  
「水とうカバー」吉田愉被さん②  
・中学生デザイン画部門 銀賞  
「スゲの手さげ」林莉己さん③



・谷口太一さん  
「スゲを被る」を取り戻せ!  
★優秀賞 樋口琴さん  
「suge tumi」  
・光田友里恵さん  
「スゲの特性を活かした  
雨天用バッグの提案」  
・森田早貴さん  
「新しいスゲ製品の提案」

## 福岡町観光協会に花笠用菅笠寄贈

毎年9月23日・24日に開かれる「福岡町つくりもんまつり」の踊りまちながしや、運動会で福岡小学校の児童が使用する花笠が傷んでおり、笠縫い講座の研修生と講師が丹精込めて70蓋の菅笠を縫い、福岡町観光協会に寄贈しました。



まちながしに参加する児童全員の菅笠を用意するため、平成30年度笠縫い講座でも70蓋程を寄贈予定です。

6月から行っている『一長寿社会ソフト事業一菅笠づくり後継者育成講座「笠骨づくり」「笠縫い」』も残すところ3か月間です。これからもよろしくお願ひいたします。



9月6日(水)福岡町観光協会 石澤義文会長・山崎博事務局長らに、城山孝会長・日和祐樹副会長・越後喜代理事(笠縫い講座講師)が菅笠を手渡しました。

## 祝!クラフトコンペ奨励賞 研修生の中山孝志さん



素材や用途を問わず、生活の新たな提案となるような、斬新な作品を募集した「工芸都市高岡2017クラフトコンペティション」において、笠骨づくり後継者育成事業・笠縫い講座の研修生の中山孝志さんが、六角形の笠骨を作り、笠縫いを施した「六方」が奨励賞を受賞しました。

受賞作品は、9月22日(金)～26日(火)に高岡大和で展示販売されました。

受賞を記念して、菅笠展覧会・コンテストでも作品を展示。「これが噂の六方!」と、デザインやクラフトに敏感な20代の女性は、目を輝かせて見入っていました。



▲写真上/奨励賞を受賞した「六方」と賞状・盾。平成29年菅笠展覧会・コンテストで展示の様子。  
◀写真左/中山孝志さんと、平成28年度「笠縫い講座」で作成した正月飾り。

## 各種イベントに参加、笠縫い実演・展示・体験

### 「つくりもんまつり・さんちよんぴん蔵」

9月23日(土・祝)・24日(日)、第21回ふるさとイベント大賞“内閣総理大臣賞”を受賞した「福岡町つくりもんまつり」の期間中、さんちよんぴん蔵において、福岡町



内で開催され、笠縫い実演と菅のコースターづくり体験を行いました。

笠縫い実演を研修生の地崎知江さんと西田小百合さん(23日)、茂沼古真知子さんと福田恵子さん(24日)、菅のコースターづくり体験を菅っこメイトの糸岡淑子さん竹村与志子(23日)、大野弘子さんと永田厚子さん(24日)が行いました。

私も笠を縫ってみたい!という来場者と連絡先を交換。大勢の方に職人の技、菅笠の美しさに触れていただき、事務局も嬉しく思っております。



### 「ふくおか産業フェスティバル・Uホール」

11月3日(金・祝)「ふくおか産業フェスティバル」がふくおか総合文化センター Uホールで行われ、エントランスホールで菅笠の展示、研修生の中山孝志さんと秋元和子さんが笠縫い実演、菅っこメイトの糸岡淑子さんと大野弘子さんが菅のコースターづくり体験指導を行いました。

地元の方が多く訪れるイベントで、菅笠はとても身近な日用品として認識されていますが、実際に笠縫いを見ると、「すごい技術だな」と改めて菅笠製作技術の素晴らしさを再認識していただきました。



## 二上まなび交流館 「第9回 まなびっこフェスティバル」

毎年恒例の「まなびっこフェスティバル」豆笠づくりと菅のコースターづくり体験、菅笠の展示を、10月7日(土)二上まなび交流館で行いました。

豆笠づくり講師として、城山ミキさん・越後喜代さん・宮崎光子さんと、研修生の秋元和子さん・大野記代枝さん・地崎知江さんが16名に指導しました。菅のコースターづくり講師として、菅っこメイトの大道悦子さ



んと大野弘子さんが31名に指導しました。

笠縫い針はとても長く、一針通すだけで一苦労の様子でした。

◀写真左/笠縫い講座三期生・四期生の研修生の皆さんは、いつも縫っている笠よりも小さい豆笠を指導するため、講師の皆さんに指導を受けながら、事前準備等を行いました。ご協力ありがとうございました。

◀写真右/菅のコースターづくり体験は、女子に好評です♪



## 富山県砺波青少年自然の家「オープナー」



▲写真上/「まなびっこフェスティバル」で行った豆笠づくり・菅のコースターづくり体験がご縁で、「オープナー」に参加することになりました。

▶写真右/菅のコースターづくり体験は、女子に好評です♪

9月24日(日)富山県砺波青少年自然の家で、より多くの方々に自然の家の施設、活動内容を知ってもらう「オープナー」が開催され、豆笠づくりと菅のコースターづくり体験と菅笠の展示を行いました。

豆笠づくり講師として、城山ミキさん・越後喜代さんと研修生の向井國子さんが22名に指導しました。菅のコースターづくり講師として、菅っこメイトの糸岡淑子さん・竹村与志子さんが44名に指導しました。

毎年700名程の来場者が訪れる大人気のイベントに保存会初参加!

菅笠、菅の良さを知っていただく良い機会になりました。



## 横浜市の横川さん、スゲ栽培&菅笠製作

横浜市飯島町内会長の横川恵さんに、SUGETがスゲ苗50株を送り、平成28年11月に飯島小6年の児童とバケツ菅を栽培。それから一年…。平成29年8月に児童等とバケツ菅の刈り取りをし、横川さんが富士笠1蓋を完成させました!



横川さん作「富士笠」(自宅で栽培したバケツ菅の菅で製作)。

横川さんは自宅でもバケツ菅を栽培し、その菅で富士笠1蓋製作。笠縫いは「菅笠の作り方」を見て縫い上げました。飯島小学校6年生が、飯島町に伝わる八木節踊りで使う菅笠を自作してみたい!という話をきっかけに、バケツ菅栽培・菅笠製作にまで発展しました。飯島小学校では今後もスゲ栽培を続けるそうです。横川さんは刈り取った後のスゲ苗を大切に育て続けていきたい、笠骨づくりにも挑戦してみたいと、意欲的です。横浜と福岡…距離はありますが、菅笠を通して今後も交流できることがとても嬉しいです。



飯島小学校のバケツ菅。元気に育ちました!



▲写真左/飯島小学校のバケツ菅、バラ干しの様子。写真右/飯島小学校のバケツ菅、天日干しの様子。